

～ 障がい福祉に関するアンケート調査へのご協力のお願い ～

日頃から豊田市の障がい福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

豊田市では現在、令和3年に策定した「第5次障がい者ライフサポートプラン」に基づき障がい者施策の推進に取り組んでいます。このたび、障がい福祉に関する意識などをお伺いし、より一層の計画・施策の推進に役立てるため、この調査を実施することとしました。

この調査の対象者は、18歳以上の方から無作為抽出で選ばせていただきました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の内容が明らかにされたりすることはありません。また、回答いただいた内容は、統計的にまとめ、障がい者施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使用する一切ありません。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

令和4年9月

豊田市長 太田 稔彦

＜ 記入にあたってのお願い ＞

1. この調査は、宛名の本人が回答ください。
2. 記入が終わりましたら、この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて●
月●日（●）までにご返送ください。

※この調査への質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

豊田市役所 福祉部 障がい福祉課 計画担当

電 話：0565-34-6751

ファックス：0565-33-2940

メー ル：shougai_hu@city.toyota.aichi.jp

あなたのお住まいや家族構成などについておたずねします。

問1 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 |
| 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

問2 お住まいの地区をお答えください。(○は1つ)

※地区がわからない場合は町名でお答えください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 拳母地区 | 2. 高橋地区 |
| 3. 上郷地区 | 4. 高岡地区 |
| 5. 猿投地区 | 6. 松平地区 |
| 7. 藤岡地区 | 8. 小原地区 |
| 9. 足助地区 | 10. 下山地区 |
| 11. 旭地区 | 12. 稲武地区 |

地区がわからない場合 ⇒ () 町

問3 あなたの世帯の家族構成をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 核家族(親と子) | 4. 3世代同居(親と子と孫) |
| 5. その他() | |

問4 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 会社や団体に勤めている(正社員) |
| 2. 会社や団体に勤めている(パート・アルバイト等) |
| 3. 会社や団体の役員、経営者 |
| 4. 自営業、個人事業主およびその家族従業員(農林水産業を含む) |
| 5. 学生 |
| 6. 家事専業 |
| 7. 無職(学生、家事専業を除く) |
| 8. その他() |

障がいのある方との関わりについておたずねします。

問5 あなたの身近に障がいのある方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自分自身が障がいがある | 2. 家族や親せきに障がいのある方がいる |
| 3. 友人や知人に障がいのある方がいる | 4. 職場や学校などに障がいのある方がいる |
| 5. 近所に障がいのある方が住んでいる | 6. 障がいのある方と一緒に働いている |
| 7. その他 () | 8. 身近に障がいのある方がいない |

問6 あなたは、これまでに生活の中で障がいのある方と関わりを持ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

※ご自身に障がいがある場合は、他の障がいのある方との関わりについてお答えください。

- | |
|--|
| 1. 身近に障がいのある方がおり、日ごろから接している |
| 2. ボランティアなどで障がいのある方と関わっている |
| 3. 職場や学校などで障がいのある方と関わっている |
| 4. 学校の体験学習等で、障がいのある方の話を聞いたりする |
| 5. 地域で障がいのある方と関わっている |
| 6. まちなかで困っている障がいのある方を手助けするなど関わりを持ったことがある |
| 7. その他 () |
| 8. 関わりを持ったことがない |

▶問6で「8. 関わりを持ったことがない」を選択された方にお尋ねします。

問7 関わりを持った経験がない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 親しい人の中に障がいのある方がいないから |
| 2. 身近に障がいのある方がおらず、関わる機会がないから |
| 3. 困っている方を見かけても、手助けするのはおせっかいのような気がするから |
| 4. どのように関わったらよいかわからないから |
| 5. 専門の人や関係者に任せた方がよいと思うから |
| 6. 関心がないから |
| 7. その他 () |

問8 あなたは、今後、生活の中で障がいのある方と関わりを持とうと思いませんか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 積極的に関わりを持とうと思う |
| 2. 機会があれば関わりを持とうと思う |
| 3. 障がいについての理解や配慮など、どのように関わったらよいかわからない |
| 4. できれば関わりを持ちたくない |
| 5. 関わりを持ちたくない |

問9 あなたは、お住まいの地域で障がいのある方が困っていたら、その人にどのようなことができると思われますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 日常的な声かけ | 2. 話し相手、情報の提供 |
| 3. 外出時のちょっとした手伝い | 4. ちょっとした家事の手伝い |
| 5. 災害や急病などの緊急時の支援 | 6. その他 () |
| 7. 何もできない | |

問10 あなたは、災害が起きた際、地域に住んでいる障がいのある方への支援(安否の声かけ、災害情報を伝える、避難誘導など)をすることについて、どのように思われますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 支援をするべきだと思う |
| 2. できるだけ支援をしたいと思う |
| 3. 支援をしたくても、どのように支援したらよいかわからない |
| 4. 支援することは自分には難しいと思う |
| 5. 障がいのある方に限らず他人を支援することは難しいと思う |
| 6. その他 () |

就労している方(問4で1~4とお答えの方)にお尋ねします。

問11 あなたの勤め先で、障がいのある方は働いていますか。(○は1つ)

※職場・事業所単位ではなく、お勤め先の会社や団体全体を対象にお答えください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 障がいのある方が雇用されており、職場が同じなどでよく知っている |
| 2. 障がいのある方が雇用されているが、普段は顔を合わせない |
| 3. 障がいのある方は雇用されていない |

問11で「1. 障がいのある方が雇用されており、職場が同じなどでよく知っている」を選択された方にお尋ねします。

問12 あなたの勤め先では、障がいのある方が働きやすいように、どのような工夫がされていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 短時間勤務など勤務時間の配慮がされている |
| 2. 職務の内容や業務量への配慮がされている |
| 3. 仕事がしやすいように設備を整えている |
| 4. 障がいのある方の就労を支援する社内人材を育成している |
| 5. 障がいのある方の就労を支援する機関や団体と連携している |
| 6. 障がいのある方が働きやすい部署や子会社を設けている |
| 7. 従業員に対して障がいに関する理解啓発を実施している |
| 8. その他 () |
| 9. 特に配慮されていない |
| 10. どのような対応をしているかよくわからない |

問13 あなたは、この3年間に、障がいのある方がつくった商品（食品を含む）を買ったことがありますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 買ったことがある | 2. 買ったことがない |
|-------------|-------------|

→問13で「1. 買ったことがある」を選択された方にお尋ねします。

問14 あなたは、その商品をどこで購入しましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 市役所や福祉センターなど公共施設 |
| 2. 障がいのある方が働く福祉施設 |
| 3. スーパーなどのお店・飲食店 |
| 4. アンテナショップきらり（公共施設等に設置してあるお菓子BOX） |
| 5. イベント・おまつりなど |
| 6. 通販 |
| 7. その他（ ） |

障がいや福祉に関することなどについておたずねします。

問15 あなたは、日頃、「障がい」や「障がい者福祉の制度」などに関する情報をどこから知ることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 本や新聞、雑誌の記事 | 2. テレビ、ラジオのニュースや番組 |
| 3. インターネット | 4. 行政などの広報紙やパンフレット等 |
| 5. 各種講演会、イベント等 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 市役所など行政機関の窓口 | 8. 医療機関、福祉施設、学校 |
| 9. 障がい者団体の広報 | 10. 身近にいる人から |
| 11. 障がいのある方から | 12. その他（ ） |
| 13. 特にない | |

問16 あなたは、障がいのある方のことや障がい者福祉について関心をお持ちですか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり関心がない |
| 5. 関心がない | |

問 1 7 障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う地域社会のことを「地域共生社会」といいます。あなたは、この「地域共生社会」という言葉を聞いたことがありますか。また、このような地域社会のあり方についてどのように考えますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 聞いたことがあり、賛同できる | 2. 聞いたことはあるが、賛同できない |
| 3. 聞いたことはないが、賛同できる | 4. 聞いたことはなく、賛同もできない |
| 5. わからない | |

問 1 8 このような「地域共生社会」の実現をめざし、平成28年4月に障がい者差別解消法が施行されました。あなたは、障がい者差別解消法について知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない | |

障がい者差別解消法（正式名称：障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律）は、障がいを理由とする差別の解消を推進し、「共生社会」を実現することを目的として制定されました。（平成28年4月からスタート）

障がい者差別解消法では、「**不当な差別的取扱い**」と「**合理的配慮をしないこと**」が差別になります。

●「**不当な差別的取扱い**」とは

例えば、「障がいがある」という理由だけで、スポーツクラブに入れないこと、アパートを貸さないこと、車椅子を利用しているからといってお店に入れないことなどは、障がいのない人と違う扱いを受けているので、「**不当な差別的取扱い**」であると考えられます。ただし、他に方法がない場合などは、「不当な差別的取扱い」にならないこともあります。

●「**合理的配慮をしないこと**」とは

聴覚障がいのある人に声だけで話す、視覚障がいのある人に書類を渡すだけで読みあげない、知的障がいのある人にわかりやすく説明しないことは、障がいのない人にはきちんと情報を伝えているのに、障がいのある人には情報を伝えないことになります。

障がいのある人が困っている時にその人の障がいに合った必要な工夫ややり方を相手に伝えて、それを相手にしてもらうことを**合理的配慮**といいます。障がい者差別解消法では、役所や会社・お店などが、障がいのある人に「合理的配慮をしない」ことも差別となります。

出典：内閣府 障がい者差別解消法リーフレット（わかりやすい版）

問 1 9 あなたは、障がい者差別解消法が施行されたころ（5年程前）と比べて障がいのある方に対する差別や偏見は改善していると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. かなり改善していると思う | 2. 少しずつ改善していると思う |
| 3. あまり改善していないと思う | 4. 改善していないと思う |
| 5. どちらともいえない | |

問 2 0 また、あなたは、令和3年4月に施行した「豊田市地域共生社会の実現に向けた相互理解の促進及び意思疎通の円滑化に関する条例」についても知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称は知っているが、内容は知らない |
| 3. 名称も内容も知らない | |

問2 1 障がいのある方に対する理解や配慮をより深めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(特に必要だと思うもの3つまで○)

1. 学校教育での障がい理解のための教育の推進
2. 障がいの有無にかかわらず共に学ぶ教育（インクルーシブ教育）の推進
3. ボランティア活動の推進
4. 近所や自治会で障がいのある方との交流を深める
5. 障がいのある方の一般企業への就業の促進
6. 障がいのある方と共に参加できるスポーツ・文化芸術活動の推進
7. 福祉に関する広報やパンフレットの作成
8. イベントなど障がいのある方の話を聞いたり、ふれあう機会の提供
9. 障がい者団体を知ってもらうための活動
10. 障がいのある方からの市民に対する積極的な情報発信
11. その他（)
12. わからない
13. 特に必要だと思うことはない

暮らしやすさや今後のまちづくりについておたずねします。

問2 2 障がいのある方にとって、豊田市は暮らしやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. とても暮らしやすいまちだと思う
2. どちらかといえば暮らしやすいまちだと思う
3. あまり暮らしやすいまちだとは思わない
4. 暮らしやすいまちだとは思わない

問2 3 あなたにとって、豊田市は暮らしやすいまちですか。(○は1つ)

1. とても暮らしやすいまちだと思う
2. どちらかといえば暮らしやすいまちだと思う
3. あまり暮らしやすいまちだとは思わない
4. 暮らしやすいまちだとは思わない

問2 4 問2 1と問2 2の回答について補足することがあれば自由にご記入ください。

問25 障がいのある方が地域のなかで自分らしく、安心して暮らしていくために、どのような取り組みを進めていくべきだと思いますか。(特にそう思うもの3つまで○)

1. 地域住民の障がいへの理解を深める啓発
2. 障がい者の権利擁護のための制度・基盤の整備
3. 障がい者のスポーツ、芸術、文化活動等に対する支援
4. 災害時・緊急時の情報提供や避難誘導など、災害対策の充実
5. 医療機関等の障がい理解の促進、必要な医療を受診しやすくするための支援
6. 医療やサービス利用の負担軽減
7. 障がい者が暮らしやすい住宅の整備
8. デイサービスなど日中活動サービスの充実
9. 職業訓練や障がい者雇用施策の充実
10. 交通機関、道路、公共施設や集客施設などのバリアフリーの推進
11. 障がいに応じた情報提供や相談体制の充実
12. 点訳、音訳、手話、要約筆記などコミュニケーション手段の充実
13. 障がいの有無にかかわらず共に学ぶ教育（インクルーシブ教育）の推進
14. 障がい者団体や障がい者自身の各種の活動に対する支援
15. その他（)
16. 特にない

質問は以上です。

最後に、障がい福祉サービス等や行政の取り組みについて、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。
がっ にち へんそう
●月●日(●)までにご返送ください。